



梅沢 政隆
リポーター



大久保勝男
リポーター



大石 純夫
リポーター

満開の一本桜に大満足

山根一本桜トレッキング 4月23日



満開の一本桜を見上げる参加者

山根市民センター主催の一本桜トレッキングに24人が参加しました。好天に恵まれ、山菜を探し草花を眺めながら約2.7kmをトレッキング。目的地に着くと、樹齢150年を超える一本桜が出迎えてくれました。参加者は満開の一本桜を見上げ、大満足の様子でした。(大久保)

地域の子どもたちの支援に

国際ソロプチミスト久慈 クラブ支援金贈呈式 4月22日



一沢レイ子会長(中央)と支援金を受けた団体の皆さん

国際ソロプチミスト久慈は毎年、地域の子どもたちの支援活動を行う団体に対する寄付などの活動を行っています。この日、市内催事場で贈呈式が行われ、図書館への児童図書寄贈と併せて、子ども食堂を運営する団体や学童施設など5団体に支援金が贈呈されました。

まちなかに春の彩り

久慈春まつり・やませ土風館感謝祭 4月26日



オープニングセレモニーで行われた恒例の景品付き餅まき

やませ土風館や歴通路広場、市日通り周辺を会場に、恒例の2イベントが同時開催。暖かな春の日差しの中、グルメ屋台がにぎわいをみせたほか、ステージではダンスや吹奏楽・マンドリンの演奏、お笑いステージなどのイベントが行われ、来場者を楽しませました。

岩瀬張町内会が自主防災組織結成

自主防災組織認定書交付式 4月17日



認定書を受け取る八屋会長(左)

市内で71団体目の自主防災組織となる岩瀬張町内会自主防災会が結成され、認定書が交付されました。認定を受け、八屋芳紀会長は「地域性を生かした防災力向上のため、防災活動の励行や資機材整備を進め、防災意識の向上に取り組んでいきたい」と意気込みを語りました。

三世代でポッチャを楽しむ

久慈ランチポッチャ交流会 4月12日



ランチポッチャ交流会を楽しんだ参加者

スペシャルオリンピックス日本・岩手と長内市民センターの共催で、久慈ランチポッチャ交流会が開催されました。小学生から高齢者まで25人が参加。4グループに分かれて試合が行われました。初めてでも楽しめる競技で、ナイスプレーには歓声が上がりました。(大石)

特殊詐欺被害ゼロを目指す

特殊詐欺被害防止サポーター委嘱状交付式 4月15日



委嘱状を掲げる語り部マスターの下館さん(中央)と明治牛乳久慈宅配センター工藤琢生代表(中央右)

久慈警察署で、特殊詐欺被害防止サポーター委嘱状交付式が開かれました。本年度は、明治牛乳久慈宅配センターと下館佳光さんに委嘱状を交付。昨年、久慈警察署管内では5件の特殊詐欺被害が発生しました。サポーターは特殊詐欺被害ゼロを目標に、広報活動を行います。

水産業を支える養殖

久慈育ち琥珀サーモン初水揚げ 4月16日



水揚げされたギンザケ

久慈市漁業協同組合が久慈湾内で養殖に取り組むギンザケの初水揚げが行われました。この日は、いけすから約3300尾、4.3トンの水揚げ。同漁協の向井啓益参事は「これからどんどん大きく成長していくと思います。ぜひ皆さんに味わってほしいです」と思いを語りました。

自転車の交通違反に青切符

春の全国交通安全運動街頭啓発 4月9日



久慈駅で街頭啓発活動を行う中平市長ら

4月6日から15日にかけて春の全国交通安全運動が実施され、自転車の交通ルールの遵守や青切符の適用への理解などに向け各種活動が行われました。9日には、中平市長や久慈警察署の大倉徳詩署長らが久慈駅で街頭啓発活動を行い、鉄道利用者に交通安全を呼びかけました。

大勢の来館者で賑わう

もぐららびあGW特別企画展 4月29日



久慈の海水槽で行われる南部潜りの実演

館内では、かめ吉をはじめ多くの魚介類を展示しています。中でもクラゲは東北地方で2番目に多い22種類を展示。水槽の中で漂うクラゲの姿に、子どもから大人まで癒やされていました。魚介類のほかに、石油文化ホールの見学もでき、来館者は大満足の様子でした。(梅沢)

鍛錬の成果を競い合う

第21回久慈市長杯争奪柔道大会 4月26日



互いに組み合い技を競う選手たち

三船十段記念館で開催された大会に小学生から高校生まで150人を超える選手が出場し、熱戦を繰り広げました。中平市長は「これからの柔道競技を牽引していく選手が出てくることを願っています」と語り、市全体で柔道のまちづくりを推進していくことを誓いました。

放課後も安心できる居場所

放課後児童クラブGatagon Base開所式 4月10日



テープカットで開所を祝う関係者ら

市山村文化センターおらほーるで、放課後児童クラブ「Gatagon Base」の開所式が開催されました。同クラブは、同施設2階の和室を利用して開設。利用者の小渡鳳琉白さん(山形小1年)は「学校が終わった後もみんなまで遊べて楽しいです」と笑顔を浮かべました。

晴天の空を泳ぐ

鯉のぼりフェスティバル 4月15日



みんなで力を合わせてひもを引っ張り、こいのぼりを掲揚する園児たち

福祉の村で鯉のぼりフェスティバルが開催され、市内18施設の園児約170人が参加しました。力を合わせてひもを引くと、45匹のこいのぼりが爽やかな風を受け大空へ。園児たちが掲揚した鯉のぼりを背に童謡「こいのぼり」を合唱し、会場は元気な歌声と笑顔に包まれました。